

# 新型コロナワクチンの効果と副反応

## (1) ワクチンの有効性

ファイザー社と武田・モデルナ社の mRNA ワクチン；いずれも約 95%の有効性  
アストラゼネカ社のウイルスベクターワクチン；1 回目の接種後約 76%の有効性  
2 回目の接種後約 82%の有効性 平均 70.4%の有効性  
インフルエンザワクチンの 65 歳未満成人での有効性が 52.9%

## (2) ワクチンの効果の持続時間

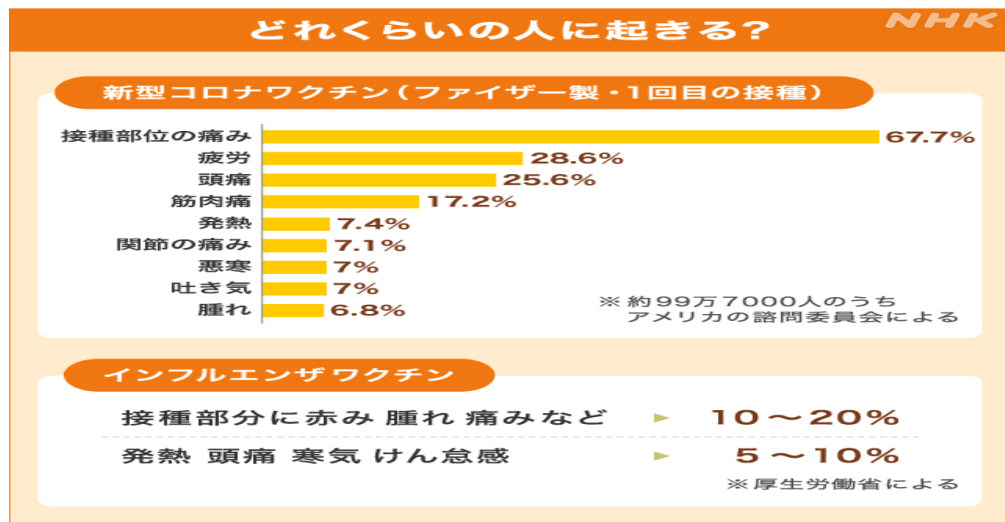
どのくらい効果が持続するかの明確な情報はまだありませんが、モデルナ社のワクチンのデータからは、中和抗体が 4 ヶ月持続しています。実際の予防効果はまだわかっていません。

## (3) ワクチンの対象年齢

ファイザー社では 16 歳以上、モデルナ、アストラゼネカ社では 18 歳以上に対して臨床試験が行われています。現在薬事承認されているファイザー社のワクチンは、16 歳以上が対象ですが、将来的には接種対象年齢が広がる可能性もあります。

## (4) ワクチンの副反応

### ・短期的な局所的、全身的副反応



### ・重篤な副反応

ファイザー；接種群 0.6%、対照群<sup>※1</sup>（偽薬）0.5%

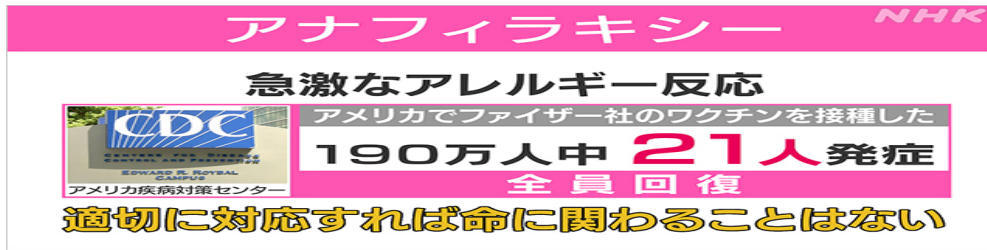
モデルナ；両群で1%

アストラゼネカ；接種群 0.7%、対照群<sup>※1</sup>（偽薬）0.8%

<sup>※1</sup>対照群；ワクチンの代わりに、生理的食塩水を接種して、ワクチンの効果を比較した人々の事  
このように入院が必要なほどの重篤な副反応は、今のところ報告されていません。

一般的に、副反応は高齢者よりも若年者の方が多く、2回目の接種では1回目より、多く副反応が起こるようです。また、ノルウェーでは、衰弱した80歳以上の高齢者がワクチン接種後、発熱、嘔吐、下痢などの症状を訴えた後に亡くなる事例が増えていると言われており、注意が必要です。

#### (5)アナフィラキシー反応が起こる頻度



この21人のうち、17人はサルファ剤（抗生物質の一種）や卵などの何らかのアレルギーがあり、7人が過去にアナフィラキシー反応を起こしたことがあったそうです。

#### ・アナフィラキシー反応の発生頻度

新型コロナ mRNA ワクチン；10万人に1人

一般的なワクチン；100万人に1人

ペニシリン（抗生物質）；5000人に1人

この結果から冷静にリスクを評価する必要があります。

アナフィラキシーの原因と考えられているのは、mRNA ワクチンの、壊れやすい mRNA を包んでいる膜に含まれているポリエチレングリコール<sup>\*2</sup>と呼ばれる物質です。アメリカでは、今までに化粧品や腸管洗浄剤などでアレルギーがあった人は、mRNA ワクチンの接種を控え、製法の違う英アストラゼネカのワクチンを接種するように推奨しています。食品や薬物のアレルギーも同様です。

<sup>\*2</sup>ポリエチレングリコール；毒性が低く、優れた潤滑性があり、様々な医薬品や医薬品添加物として

用いられてきた物質。ヘアケア・スキンケア用品、便秘改善薬、腸管洗浄剤などに含まれている。

また、アナフィラキシー反応は、86%の人が接種30分以内に出現しています。

\* ワクチン接種後30分は医療機関で様子を見て、体が熱くなる、発疹やかゆみ、唇や口の中の腫れ、まぶたの腫れ、咳やゼイゼイ、息苦しさ、強い腹痛や嘔吐、めまいやふらつきなどの症状が出たら、すぐに病院スタッフに伝え、医師の診察を受けるようにしましょう。